

はじめに

本市は、海に囲まれた豊かな自然を有しており、これらの自然から多くの恩恵を享受し発展してまいりました。持続可能な地域社会の実現に向けて、この豊かな自然を将来の世代に引き継ぐことは、私たちの重大な責務となっています。

近年、地球温暖化問題への関心が国際的にも非常に高まっています。国においては、令和2年10月に2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2030年度までに温室効果ガスを46%削減し、さらに、50%削減の高みに向けて挑戦を続けるとしています。

また、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル変換のうねり・ムーブメントを起こすべく、「デコ活（脱炭素につながる豊かな生活を創る国民運動）」を開始しております。

これを受け、本市においても令和4年2月に「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。また、「デコ活」に賛同し、新国民運動官民連携協議会に参画しております。

2050年カーボンニュートラルに向けては、現在、環境審議会において、議論をいただきながら、地域資源を活かした本市ならではの脱炭素施策を検討しているところであります。

本書は、令和4年度における本市の環境の現状などについてとりまとめたものです。本書により、皆様が環境に対してより関心を持っていただき、本市の環境行政の推進に対して、更なるご理解とご協力をいただければ幸いです。

令和6年3月

塩竈市長 佐藤 光樹